



安芸太田町は、広島県の北部に位置し、山林が町域の約9割を占め、一級河川の太田川が流れる自然豊かな地域です。

安芸太田町消防団は、本部と各地域を管轄する11分団で構成され、「消防団は団結が一番」、「あいさつ 実行 後始末」をモットーに地域の安心・安全のために活動しています。

安芸太田町消防団では、令和3年1月、消防団活動にドローンを導入しました。

ドローンを導入することで、捜索・災害時などの活動の効率化により、団員の負担軽減と安全確保を図ることができます。また、ドローンの活用により、これまでは後方支援が中心であった女性消防団員も第一線での活躍が期待できるため、現在、女性団員を中心にパイロットを育成し、活動しています。

本町は町域の約9割を山林が占めた急峻な地形のため、災害時の危険個所の確認には危険が伴い、時間を要していましたが、ドローンの活用により、安全に早く確認作業を行うことができるようになりました。令和3年8月の大雨では、道路に土砂が流れ出た際、土砂の流出元の状況を消防団のドローンで確認し、業者に引き継ぐことで、素早い土砂撤去が実現できました。

最近では、町内の保育施設を対象とした「防災教室」にもドローンを活用しており、紙芝居等による指導に加え、ドローン操縦の披露をしています。園児たちは、モニターに映った上空からの自分たちの姿に興味を持ち、目を輝かせてドローンに手を振ってくれ、消防団に関心を持つきっかけになればと期待しています。

まだまだ試行錯誤の段階ですが、今後も訓練と経験を重ね、活躍の幅を広げていきたいと思っています。



○消防団の概要等（令和5年4月1日現在）

団長	<u>栗原 眞</u>	条例定数	<u>500人</u>	（うち支援団員30人）
		実団員数	<u>377人</u>	（うち支援団員16人）